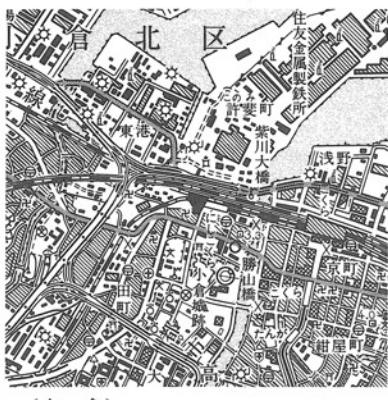


福岡・大門遺跡

だいもん



(小倉)

1	所在地	福岡県北九州市小倉北区大門二丁目
2	調査期間	二〇〇四年（平16）六月～七月
3	発掘機関	（財）北九州市芸術文化振興財団
4	調査担当者	山口信義・山手誠治
5	遺跡の種類	町屋跡
6	遺跡の年代	江戸時代～明治時代
7	遺跡及び木簡出土遺構の概要	

大門遺跡は、小倉城二ノ丸の北側に堀を隔てた町屋の埋立造成地

にあたる。今回の調査は地

方主要道の拡幅工事に伴う

もので、調査区の北端は長

崎街道筋と大門跡に接する。

調査の結果、室町と大門

町との間を南北に通る堀と

石垣を検出した。石垣は上

部が削平されており、高さ

三m分のみが残存して

いた。

木簡は、堀内の砂泥層から、大量の陶磁器・瓦とともに一点が出土した。石垣は明治時代に修復を受けており、近代のものである可能性もある。共伴遺物の中には、人工コバルト釉型紙刷りの陶磁器片がある。

8 木簡の釈文・内容

(1)

・「可押取候
五月 日
堅令停止申若
相背族有之嚴科
つみて打掛焦取事
此堀ちりあくた」



310×430×20 011

釈読は、北九州市立自然史・歴史博物館の永尾正剛氏による。

9 関係文献

（財）北九州市芸術文化振興財団『小倉城桜町口門跡・大門遺跡』

（北九州市埋蔵文化財調査報告書二七〇、一〇〇七年）

（山口信義）

